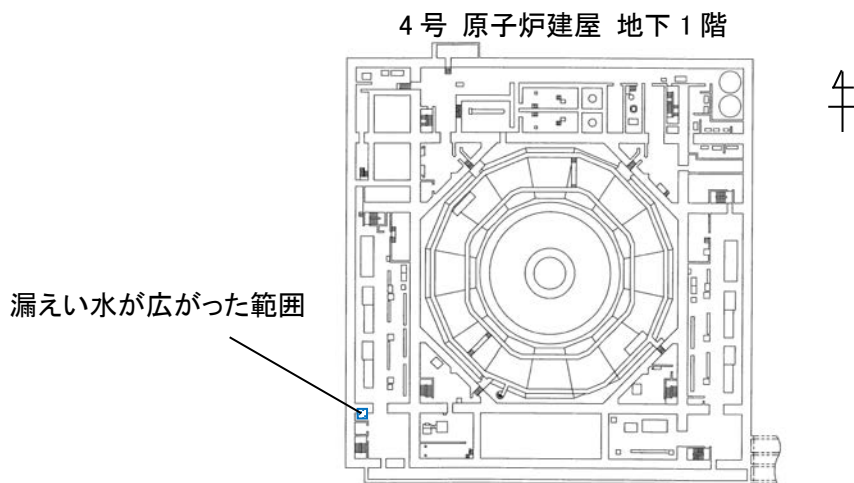


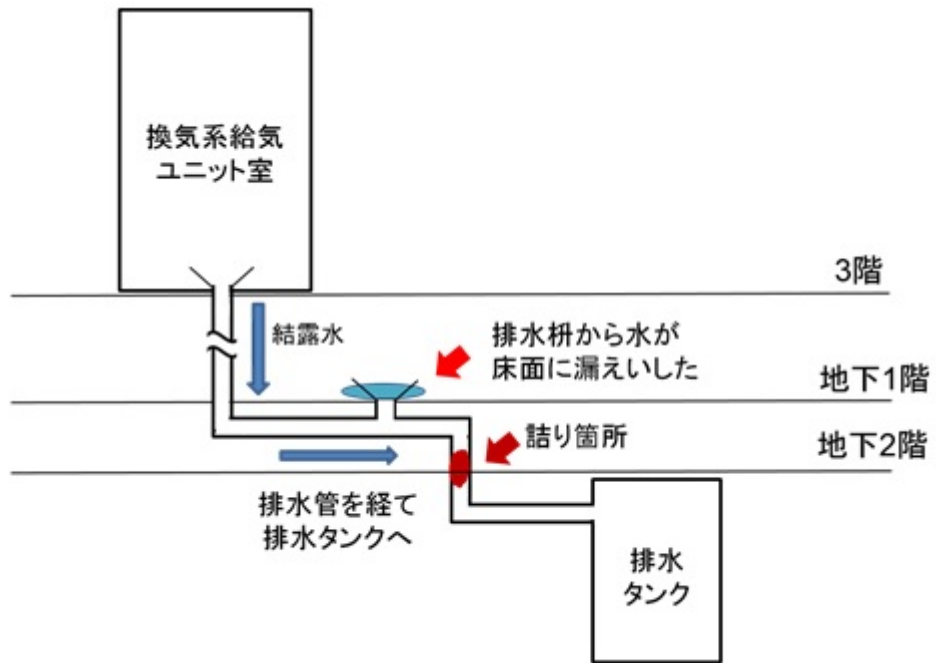
浜岡原子力発電所 4号機 原子炉建屋内における放射性物質を含まない水の漏えいについて

2018年7月31日

発生場所	4号機（施設定期検査中） 原子炉建屋 地下1階 南西階段室付近 配管スペース（放射線管理区域外）
発生年月日	2018年7月30日
状況	<p>2018年7月30日、当社社員が巡視点検をおこなっていたところ、午後11時30分頃に原子炉建屋地下1階の南西階段室付近の配管スペース（放射線管理区域外）で漏えい水を確認しました。漏えい量は約160リットルであり、漏えいした水の回収処理は完了しています。</p> <p>原因は、放射性物質を含まない水を排水する排水配管が詰まったため、詰まり箇所の上流側にある排水枘（当該スペース内に設置）から溢水したものと推定しています。また、漏えいした水は原子炉建屋3階の換気系給気ユニット（注）内で発生した結露水と考えています。</p> <p>今後、適切に対応してまいります。</p>
放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに関わる事象ではありません。
お知らせ基準	運転情報「表 2-11 建屋内において放射性物質を含まない水の漏えいを発見したとき（但し、100リットル程度に至らない漏えいを除く。）」に該当します。

注 換気系給気ユニットとは、建屋内へ導いた空気の温度調整をするための冷却コイル等のことであり、冷却された空気により結露水が発生します。





以上